

2019年度第1回(一社)日本生物物理学会理事会議事録

日時: 2019年6月22日(土) 14:00-17:00

場所: 新大阪丸ビル 新館5階 509号室

出席者: 理事総数 17名 出席理事 15名 (代表理事を含む)

代表理事(会長)	原田 慶恵	理事(副会長)	須藤 雄気
理事(副会長)	小松崎 民樹	理事	秋山 修志
理事	秋山 良	理事	飯野 亮太
理事	大上 雅史	理事	岡田 眞理子
理事	上久保 裕生	理事	小島 清嗣
理事	古寺 哲幸	理事	寺川 剛
理事	西坂 崇之	理事	細川 千絵
理事	村田 武士		

監事: 監事総数 2名 出席監事 2名

監事	笹井 理生	監事	豊島 陽子
----	-------	----	-------

オブザーバー:

邦文誌編集委員長	佐甲 靖志
欧文誌編集委員長	石渡 信一
欧文誌次期編集委員長	中村 春木
ウェブサイト編集委員長	宮田 真人
東北支部長	羽鳥 晋由
2019年度年会委員長	永井 健治
2020年度年会委員長	大澤 研二
2017-2018年度理事	神取 秀樹
2017-2018年度理事	高田 彰二
2017-2018年度理事	野地 博行
2017-2018年度理事	石島 秋彦
2017-2018年度理事	諏訪 牧子
2017-2018年度理事	林 重彦
2017-2018年度理事	坂内 博子
2017-2018年度理事	光武 亜代理
2017-2018年度監事	七田 芳則

陪席者:

会長室 神瀬 麻里子

学会事務局 向井 牧子

議長:代表理事(会長) 原田 慶恵

議事録作成者:理事 寺川 剛

報告事項: 資料番号

1. 定時社員総会の報告(原田)
2. 2019 年度年会準備状況(永井)
3. 2020 年度年会準備状況(大澤)
4. 出版委員会報告(小松崎)
5. 男女共同参画若手支援関連報告(須藤)
6. 企画啓発活動報告(古寺・細川)
7. 会員除籍と会員数の報告(上久保・大上)
8. IUPAB・ABA 関連報告(西坂・寺川)
9. 地区報告
 - 東北支部(羽鳥)
 - 関東支部(大澤):
 - 中部支部(飯野)
 - 中国・四国支部(須藤)

その他

審議事項

1. 会長・副会長の選任(全理事)
2. 2022 年度年会開催地について(原田)
3. 出版委員会関連議題(小松崎)
4. 第 8 回 BPPB 論文賞 受賞論文の承認について(石渡)
5. 男女共同参画若手支援関連議題(須藤)
6. 年会中止時における対応(大上・光武)
7. 生物物理サブグループについて(高田)
8. 会員総会シンポジウムについて

その他

審議および報告事項

定足数の確認:

理事会の審議に先立ち、議長・原田慶恵氏より定足数の報告があった。

理事総数 17 名のうち、出席者 15 名により過半数を超えた。

定款第三十二条(決議)

理事会の決議は、決議について特別な利害関係を有する理事を除く理事の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

報告事項:

1. 2019 年度定時社員総会の報告

原田慶恵氏より 2019 年度定時社員総会について以下の報告があった。

- ① 第 1 号議案、第 2 号議案、第 3 号議案、第 4 号議案、第 5 号議案、第 6 号議案が承認された。
- ② 2019 年度の事業計画、収支予算の報告があった。

2. 2019 年度年会準備状況

永井健治氏より 2019 年度の年会準備状況の報告があった。

- プログラム集の表紙を新しいデザインに変えることが報告され、理事会で承認された。
 - 年会の登録状況および 2019 年度のランチオンセミナーについては、事前に登録が必要になる旨報告があった。
 - 年会の予算が報告された。(収入・支出とも 35,955,040 円、収支 0 円)
 - 年会のスケジュールが報告された。
 - 年間の 3 日目(最終日)に高校生の発表賞と学生発表賞の発表を含む閉会式を行う。
 - 閉会式後、貸し切りバスで駅・空港まで参加者を送迎する。
- また、以下について説明があった。
- カレントトピックスセッションについて
 - イメージコンテストについて
 - 科研費説明会の企画について
 - リバネス社のランチオンセミナーについて
 - トラベルグラントについて
- 出前授業開催と高校生の学会参加について報告された。
 - 高校生 8 人がポスター発表を行うことが報告された。
 - 高校生に学会の公用語についてどのように伝えるか議論された。
 - 講演会場について説明された。
 - 懇親会について説明された。

3. 2020 年度年会準備状況

大澤研二氏より 2020 年度の年会準備状況の報告があった。

- 年会の予算案が報告された。
- 年会会場について説明された。
 - 1 万平米の展示会場の約 1/3 をポスター会場として利用することが説明された。
- シンポジウムについて説明された。
 - シンポジウム開催者に現地の温泉宿等を用いてサテライトミーティングを開催するようお願いすることが提案された(決議はされていない)。
- 年会の周知について説明された。
 - スーパーサイエンスハイスクールの全国大会にブースを出展することが提案された。

4. 出版委員会報告

小松崎民樹氏より出版委員会での議論について報告があった。

- 「生物物理」誌 59-3 号(2019 年 6 月号)を刊行した。
- 「細胞や固体の集団が生み出すかたち、パターンとダイナミクス」という特集号が企画されている。
- 談話室あるいはエコー欄に「影響を受けた論文」というエッセイシリーズを掲載することが企画されている。
- 2019 年度、BPPB 誌には、現在のところ 16 報が投稿され、10 報がアクセプトされている。
- 2018 年度科研費について、370 万円が執行され、2019 年 5 月 24 日に実績報告書が送付された。
- 2019 年度科研費の交付予定額は 380 万円である。
- BPPB 論文賞が David J. Castillo 氏・中村修一氏に授与される。
- 2019 年度 BPPB Editors' Choice Award の審査結果が報告された。

5. 男女共同参画若手支援関連報告

須藤雄気氏より男女共同参画委員会での議論について報告があった。

- 2019 年度の男女共同参画若手理事の役割分担が発表された。
- 2019 年度の年会における男女共同若手関連企画について報告された。
 - 日時は 9 月 26 日(木)に実施する。
 - 3 名に 15 分程度ずつ講演してもらい、その後 20 分のディスカッションを行う。
 - 講演の候補者は田中俊一氏、酒井佳寿美氏、寺川剛氏である。
 - 司会は須藤雄気氏が担当する。
- 2019 年度の年会におけるキャリア支援相談会について報告された。
 - キャリア支援会社(アカリク)の協力のもとランチオンセミナーを行う。
 - キャリア支援会社(アカリク)の協力のもと個別相談会を行う。

● 企業とキャリア支援会社を繋げられるように工夫する。

○ 企業ブースの近くに個別相談会場を設置する。

- 2019年度の学生発表賞について報告された。今回は、受賞者の発表を3日目に行う(過去3回は2日目懇親会前)。
- 2019年度の若手奨励賞と若手招待講演賞について報告された。

6. 企画啓発活動報告

古寺哲幸氏より講師派遣サポート事業について報告があった。

- 2017年度・2018年度の実績がウェブサイト(<https://www.biophys.jp/org/org08.html>)に掲載されたこと、また、依頼者に向けて、派遣授業の報告がウェブサイトに公開されることを明記したことが報告された。

7. 会員除籍と会員数の報告

上久保裕生氏より、会員の除籍と、会員数についての報告があった。

- 2019/4/30の入金状況により、一般会員 54 件、学生会員 107 件、シニア会員 3 件の系 164 件の除籍処理を行った旨が報告された。

原田慶恵氏より、入会キャンペーンの説明があった。

- 入会キャンペーンでは、正会員の紹介で入会した新会員の入会金 1,000 円が免除される。

8. IUPAB・ABA 関連報告

西坂崇之氏より国際化活動について報告があった。

- 中根大介氏、永井健氏、坂口美幸氏が参加した 43rd Indian Biophysical Society Meeting について報告された。
- 委員会の各名称について英語表記の案が示された。修正があれば西坂氏に連絡する。

野地博行氏よりIBC2023 準備委員会について報告があった。

- IBC2023 準備委員会にて IAC 内規(会則)案が作成されたことが報告された。
- 国際交流予算案が提示された。
- 実行委員会メンバーが報告された。
- 生物物理学会に国際関係委員会を新設することが提案され、新設が理事会において承認された。

9. 地区報告

- 羽鳥晋由氏より東北支部の活動について報告があった。
- 大澤研二氏より関東支部の活動について報告があった。
- 須藤雄気氏より中国・四国支部の活動について報告があった。

- 飯野亮太氏より中部支部の活動について報告があった。

審議事項:

1. 会長・副会長の選任

2019-2020 年度生物物理学会会長に原田慶恵氏、副会長に須藤雄気氏と小松崎民樹氏をそれぞれ選任することが理事会で承認された。

2. 2022 年度年会開催地について

- 2023 年度は京都で IBC2023 が開催される。このこともあわせ検討する必要がある。
- これからは支部ごとにローテーションし、各支部で開催地を話し合うという方針が提案され、理事会で承認された。

3. 出版委員会関連議題

小松崎民樹氏より下記議題について提案があった。

- 邦文誌の学会ニュース、SNS におけるニュース配信に関連して、下記 3 点が提案され、承認された。担当者等詳細を編集委員会で検討する。
 - 各号発刊時にメール配信するニュースの先頭に「総説」「解説」の紹介を加える。
 - SNS で個別の記事情報を配信する。
 - SNS で J-STAGE の個別記事へのリンクを貼る。
- 郷信広先生傘寿特集号について説明があり審議された。
 - エディタは片岡幹雄氏、北尾彰朗氏、河野秀俊氏が担当する。
 - 投稿は 6 月末を締め切りとする。
 - 海外から 4 名が寄稿予定である。(その他約 30 編になる予定)
 - 小冊子を 150 部発行し、年会・海外会議などで配布する予定であり、発行にかかる経費支出について理事会で承認された。
- BPPB 誌編集委員会の委員の選考について説明があり審議された。
 - 欧文誌編集委員会規約に則り、以下の流れで新委員を先行することが確認された。
 - 退任する委員と理事がそれぞれ 1 人ずつ新委員の候補を提案する。
 - 出版委員会で審議の上、必要な人数分の候補者を決める。
 - 理事会に諮り、決定する。
 - 現委員の中で退任する人を Associate Editor に加えることが確認された。
 - 神取秀樹氏を Associate Editors に加えることが提案され承認された。
- BREV 特集号への掲載について説明があった。
 - Damien Hall 氏から掲載を誘われている。
 - 宮崎年会のカレントピックスから論文掲載をお願いする案が出され、承認された。
- 中村春木氏より 2020 年からの BPPB の編集方針について説明があった。

- Review 論文を中心として、英語による電子版教科書の役割を果たせるようにする。
- Negative data も含めることが可能な Data Journal 化を行う。
- Technical methods の投稿を奨励する。
- 2 国間共同シンポジウムの講演者等に原稿を依頼する。
- 多彩な情報発信に努める。
- 迅速な査読を目指す。
- 査読者 2 名のうち原則として 1 人は海外の委員を入れるように努力を続ける。
- 学会年会の発表の中で注目すべき内容を Perspective として掲載する。

■ ウェブサイト編集委員会報告

- 下記 2 点が審議され、承認された。
 - グラフィカルアブストラクトを掲載し、そこから J-Stage へリンクする。
 - 広告も同じコンテンツのページに載せて単独の pdf にリンクする。
- 下記の点はウェブサイト編集委員会で再び議論されることになった。
 - それぞれの記事のアクセス数とランキングを表示する。
 - ★ ランキング至上主義にならないよう注意深く議論する必要がある。

4. 第 8 回 BPPB 論文賞 受賞論文の承認について

第 8 回 BPPB 論文賞が David J. Castillo 氏・中村修一氏に授与されることが承認された。

- 5 報の論文が審査対象となり、4 段階で絶対評価を行ったところ、上記著者の論文が最高得点となった。

5. 男女共同参画若手支援関連議題

審議事項は特になし。

6. 年会中止時における対応

台風や地震の影響で年会の開催が困難な場合の対応について大上雅史氏から説明があった。

- 上記の場合の方針(案)が提示され、文言を修正したものを理事会の申し合わせ事項とすることが承認された。

7. 生物物理サブグループについて

高田彰二氏よりサブグループの概要について説明があった。

- サブグループについて、予算や周知のタイミングについて議論があった。本理事会では結論を出さず、9 月の第 2 回理事会で再び議論することが確認された。

8. 会員総会シンポジウムについて

小松崎民樹氏より総会シンポジウムの案の説明があった。

- 郷通子氏と大沼清氏が講演を行う。
 - 「高分子、統計力学、そして生物へ」 郷信弘氏
 - 「大沢流てづくり統計力学」 大沼清氏
- 30 分のパネルディスカッションを行う。
 - 「生物学と異分野の融合の観点」
 - 岡田康志氏、富樫祐一氏、青野真士氏、根岸瑠美氏、郷通子氏、大沼清氏

連絡事項:

1. 次回理事会日程について(原田)

2019 年度第 2 回理事会

日時:2019 年 9 月 24 日(火)11:40-12:30

場所:宮崎シーガイア オーチャード南(第 57 回年会)

2019 年度第 2 回出版委員会 10:40~11:40 宮崎シーガイア オーチャード南(第 57 回年会)

その他の発議を求めたところ、格別なしと認められたので、議長は 17:00 に閉会を宣言して散会した。

上記の議決を明確にするため、定款第六章第三十三条の規定によりこの議事録を作成し、代表理事及び監事が次に記名押印する。

2019 年 6 月 22 日

一般社団法人 日本生物物理学会 2019 年度第 1 回理事会

代表理事	原 田 慶 恵
監事	笹 井 理 生
監事	豊 島 陽 子